



子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0082 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
http://www.kodomono-mori.net mailto:info@kodomono-mori.net

J P 子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2021年8月号)

「J P 子どもの森づくり運動」とご縁をさせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



8月の豪雨災害で被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

「毎日コロナ感染に気を付けて、熱中症対策で水分補給の心配をし、台風に備えたと思えば
線状降水帯で洪水と、次々といろんな事が降りかかってくるので、なかなか落ち着いて保育が出来ない」

広島に参加園さんから届けられたメッセージです。

厳しい日々を過ごしておられる、全国の保育者を代表する率直なお気持ちですね。

一日も早い、感染症状況の改善を祈ります。

今月号は、「どんぐりSDGs劇団」(写真)のご案内です。

(目次)

1. ご案内：「どんぐりSDGs劇団」活動開始！
2. 「東北復興グリーンウェイブ2021」活動レポート
3. 「園庭緑化運動」リレーエッセイ（2021年8月号）

■「J P 子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。
しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P 子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P 子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営：NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛：日本郵政グループ

・主な後援/協力/連携団体

(公社)全国私立保育連盟

(公社)大谷保育協会

保育環境研究所ギビングツリー

(公社)国土緑化推進機構

NPO法人 富良野自然塾

(公社)こども環境学会

国際校庭園庭連合日本支部

(一社)日本森林インストラクター協会



1. ご案内：「どんぐりSDGs劇団」活動開始！

2021年、J P 子どもの森づくり運動では、幼児(少)期子どもたちに、SDGsの大切なことを分かりやすく伝えるための試みとして、「**どんぐりSDGs劇団**」を結成しました。保育園・幼稚園・こども園の子どもたちに自然と環境体験活動を提供する活動とお芝居の力によって、森の楽しさや森の生態系の大切さを体感的に伝えていこうという挑戦的な取り組みです。演じるのは「♪どんぐりえがお」でおなじみの「どんぐり〜ず」の皆さん。演題は『**どんぐりの森のドンちゃんとグリちゃん**』です。どんぐりの森に住む「どんぐり〜ず」が、いろいろな動物たちとの出会いや様々な体験の中で、森の大切さ、森に住むものはみんな仲間、互いに分かち合う心が大切なことに気づいていくお話しです。この度、「子森チャンネル」にアップしましたので、幼児(少)期子どもたちの環境学習のツールとしてご活用下さい。新型コロナ感染症の状況が改善されたら、「どんぐり〜ず」が皆さんの園に出かけて行く**全国キャラバン**も予定しております。ご興味のある方は、子森ネットまでお問合せ下さい。（下記、QRコードからもご覧いただけます。）

1) 運営概要（敬称略）

- 企画制作：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
劇団スーパー・エキセントリック・シアター
- 脚本：小暮邦明 ・演出：山崎大輔
- 音楽：大崎聖二 佐久間順平（「♪どんぐりえがお」）
- 衣裳：水野佳子 ・小道具：どんぐりSDGs劇団
- 撮影編集：(有)エーエムディーオフィス

＊特別協賛：日本郵政グループ



どんぐり〜ず



子森チャンネル

2) 趣旨・目的～今、なぜ「どんぐりSDGs劇団」なのか～

- J P 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」が、「♪どんぐりえがお」の歌とダンスによって語り継いできた“どんぐりの絆”と“共生の心”を、総合エンターテインメントとしてのお芝居の力によって子どもたちに分かりやすく、体感的に伝えたいと思います。
- 「♪どんぐりえがお」が伝えたい“どんぐりの絆”と“共生の心”は、これからSDGsの時代を生きていかなければならない子どもたちに、今、もっとも伝えなければならない「環境の心」の基礎となるものです。
- 新型コロナ感染症の状況がなかなか改善されず、野外活動や自然・環境体験活動が自粛されがちな今こそ、エンターテインメントの力によって、「環境の心」を子どもたちの心に種まく活動を継続してまいりたいと思います。

3) 出演者、及び演出者紹介

今後の全国キャラバンへの展開を想定して、現在、「どんぐり〜ず」は、SD組とGs組の2組のメンバーで編成されています。

演出の山崎さんを含めて、皆さんキャリアのある優れたエンタテイナーであると共にコミュニケーションのプロです。

より良き未来を願う保育者が、子どもたちに伝えたい大切なことを分かりやすく伝えてくれるでしょう。



★どんぐり〜ず「SD組」

- ・安田 裕さん
- ・鎌田麻里名さん



★どんぐり〜ず「Gs組」

- ・嶋田 真さん
- ・山下香織さん



★演出：山崎大輔さん（SET劇団）

＊山崎さんからのメッセージ

『子どもはみんなどんぐりが大好き。どんぐりも、森を元気に走り回る子どもたちが大好き。そんなどんぐりの気持ちを伝えたくて、歌とダンスが入った楽しいお芝居を作りました。たくさんの子どもたちに届きますように！』

＊「どんぐり〜ず」さんからのメッセージ

『新型コロナの感染状況が改善されて、早くちびっこの前でお芝居をやりたいです。待っててねー！』

2. 「東北復興グリーンウェイ2021」活動レポート

●福井県「大野幼稚園」東北のどんぐりを見送る活動

■日 時：2021年5月26日(水)

■場 所：自園

■参加者：3, 4, 5 歳児25名、5 歳児29名、園長、PTA会長、保育教諭、大野郵便局

■日本郵政グループ参加者：大野郵便局 局長 立野外史様 ■取 材：福井新聞・日刊県民福井・毎日新聞

■活動レポート（園レポート）

2018年、2019年の秋、東北の被災地子ども達が拾ったどんぐりが送られ、大野幼稚園の園児たちが水やりをしたり、冬に備え、雪囲いの中に引っ越しをしたり、一生懸命育てました。2・3年の間に大雪や猛暑に見舞われましたが、3本の苗木が力強く生き残り、子ども達と一緒に見送り会を行いました。「どんぐりさん、大きくなってね」「行ってらっしゃーい」「大きな地震でたくさんの木が倒れたり、たくさんの人が亡くなってしまってかわいそう。どんぐりが大きな木になるといいな」など、子ども達もたくさんの声をかけて、郵便車に乗ったどんぐり絆BOXを見送っていました。この活動を通して「ともに生き ともに育つ」という願いが子ども達の中でつながり、伝わっていくことを願います。



園長先生、ご来賓あいさつ



園児たちが育てた苗木を「どんぐりの絆BOX」に入れる



郵便局長さんに「どんぐり絆BOX」を手渡す



「♪どんぐりえがお」の歌をうたう



記念撮影



赤い郵便車を園児達が見送る

3.「園庭緑化運動」リレーエッセイ（2021年8月号）

「子森通信」では、毎年、保育・幼児教育において、優れた研究や活動に取り組んでいらっしゃる4人の方々に、3か月交代でリレーエッセイをお願いしております。「子森通信」2021年7月号から9月号は、保育環境研究所ギビングツリー代表 / 新宿せいが子ども園 園長 藤森平司先生にお願いしました。2回目のエッセイです。

森はお医者さん

保育環境研究所ギビングツリー代表 新宿せいがこども園 園長 藤森 平司



木々に囲まれた小道などを歩いていると、木の香りに癒されることがあります。それは、「フィトンチッド」と呼ばれるもので、樹木などが発散する揮発性芳香物質です。樹木は、外敵を寄せ付けられないために、また傷つけられたときに病気に感染しないよう、自ら殺菌作用のある物質を放出し、身を守る能力を備えていることが近年の研究で明らかになっています。「フィトンチッド」(phytoncide)とは、ロシア語で「phyto=植物」+「cide=殺す」をくっつけた造語です。桜餅や柏餅、柿の葉寿司などに巻いてある葉は、フィトンチッドの鮮度保持効果、殺菌、防腐効果を利用しています。これが、ヒトにとってもさまざまな有益な作用を及ぼしてくれることがわかっています。英語では森林浴のことを「Ablution with phytoncides」といいます。直訳すれば、「フィトンチッドによる沐浴」です。その効果は、主なものとして「リラクゼーション（精神の安定）」「大脳皮質の活性化」「高血圧の抑制」「神経系の緩和」「皮膚病・呼吸器系疾患の改善」「アレルギー性疾患の予防、回復」などが言われています。

また、森の中に多い、マイナスイオンの効果も言われています。自然の中、特に川辺や滝など水滴どうしがぶつかり合う場所に多く存在するのがマイナスイオンで、疲労やストレスの軽減をはじめ、リラックス、病気にに対する抵抗力の増加に有効だとも言われています。逆に、排気ガスなど汚れた空気はプラスイオンと言い、集中力低下、イライラなどの症状を起こすとされています。ただし、現在、このイオンを発生する器具も随分と宣伝されていますが、その効果については様々な研究がなされており、諸説がありますが、少なくとも、森の中、滝の近くで水しぶきを感じながら深呼吸すると気持ちがいいことは確かです。



園の裏の公園のフィトンチッド



園の玄関

また、植物は蒸散作用によって空気中に水分を放出するため、室内の湿度を高めて、加湿の効果が期待できます。湿度の上昇率は植物の種類によっても異なりますが、観葉植物では、カポックなどは加湿量が多いとされています。さらに、NASAが2007年に発表した実験結果では、植物には空気中の有害物質を分解する天然の空気清浄作用があると報告されています。特に乾燥する季節には、保育室内に観葉植物を置くのも風邪予防になりますね。

★information

藤森先生新刊のご案内：『まなびのデザイン「くうかん」』 / 世界文化社

アジアでも注目される「見守る保育」。子どもたち一人ひとりが主体的に活動するための空間づくりが学べます。実際の園での実例写真を豊富に掲載しているので、視覚的にも理解しやすい構成となっています。

(世界文化社ホームページより)

* 詳細 / 購入 ⇒ <https://www.sekaibunka.com/book/exec/cs/21714.html>

